



P18



P23



P26



P28



P30



P32



P50

どうする日本政治 高市一強を問う

12 選挙・政治アドバイザー、久米晃 氏（元自民党事務局長）インタビュー
高市首相の国会対応は「赤点」
結果が問われる局面がくる ●聞き手・まとめ／金本裕司

17 敗戦81年 終わらない戦禍 映画で考える戦争と平和

18 『わたしの知らない子どもたち』
対談 西川美和監督 × 武田砂鉄
戦争孤児の実像と記憶の継承 ●まとめ／鈴木 隆

23 『ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？』
塚本晋也 監督に聞く
「加害」に向き合うベトナム帰還兵描く
●聞き手・まとめ／大友麻子

26 『八月の声を運ぶ男』柴田岳志 監督に聞く
忘却進む時代に抗い 被爆者の人生と向き合う
●鈴木 隆

28 『ヒトラーの毒見役』シルヴィオ・ソルディーニ 監督に聞く
ヒトラーに「貢献」した過去を
95歳で証言した女性 ●中村富美子

30 『ハワの手習い』ナジーバ・ヌーリ 監督に聞く
52歳で読み書きを学び始めた母の闘い

32 『撃たれた自由の声を撮れ』ザイナブ・エンテザール 監督
現地で闘うことを選んだ女性たちの5カ月を記録

33 『原爆資料館 語り継ぐものたち』
記憶継ぐ被爆地の使命 世界へ届ける
●ワタナベ＝アキラ

50 「五月」の光の飛沫を浴びる韓国の旅から
生者と死者の入会地の豊饒 ●山口 泉

6 きんようアンテナ
茨城在住ナイジェリア国籍女性、難民認定求め提訴、第1回弁論
●崎山勝功
陸上自衛隊駐屯地で訓練中に隊員が事故死、遺族が国賠訴訟提起
●三宅勝久
辺野古新基地建設訴訟、最高裁が住民3人の原告適格認める
●阿部 岳
「日本は原潜持つべきではない」市民団体が共同声明、与党に提出
●阿久沢悦子
取り調べ中「検察なめんな」発言検事が被告人、異例の裁判開始
●栗野仁雄
認定NPO初の全国ネットワーク、経営課題や制度改善に向け結束
●豎場勝司
38 【提携連載企画】〈人質司法〉悪党たち 17
裏切った労組が立ち上げた「メディア」の正体
経営側から労働組合への2億8866万円
●Tansa渡辺 周、中川七海
42 連載 ヴィパッサナー瞑想体験記2（13・最終回）
●想田和弘 イラストレーション／伊野孝行
46 【連載】これからどうする？
崖っぷちから振り返る ●田中優子
48 メディアウオッチ
なぜ衆院比例代表定数を削減したいのか
政権の本音を代弁した産経新聞の論考
狙いは「大政翼賛会」再び？ ●早川タダノリ
63 写日記（291） ●松元ヒロ

くらしの泉

36 【PFAS】
スウェーデンの大規模研究で判明
PFASは心臓や脳の病気も増やす ●植田武智

きんようぶんか

54 【本】
『平和を求める自由』 ●小町谷育子
『越境者ラデク ロシア革命までの東欧世界1885-1917』
●田沢竜次
『22世紀の戦争論』 ●高原 到
56 【映画】『叛逆のサウンドトラック』 ●松村 洋
【音楽】『極致～ 8 トラックス』 ●長利清之
57 【美術】『杉本博司 絶滅写真』 ●薄井崇友
【TVドキュメンタリー】 ●ワタナベ＝アキラ

今週の表紙



戦争孤児に光を当てた西川美和監督の新作『わたしの知らない子どもたち』の一場面。戦争が終わり、疎開先から戻った主人公・茅野琴子は、東京大空襲で両親を失い全焼した実家跡で呆然と立ち尽くす。琴子は孤児として戦後を生き抜く決意を固める。 ©2026 K2 Pictures・AOI Pro.

3 風速計
「国民の総意」と乖離した
皇室典範改正
●宇都宮健児

2 それでもそれでもそれでも (692) ●齋藤陽道
10 さらん日記
11 凱風快晴ときどき曇り(132) ●内田 樹
16 政治時評 ●阿部 岳
41 経済私考 ●鷺尾香一
49 菱山南帆子の「同門多心」(21)
62 リトルてんちゃん (30) ●インズマサシ
64 読者会から
64 きんようびのはらっぱで (情報欄)
66 金曜日から
67 猫様 (150) ●想田和弘

58 言葉の広場
アメリカは遠くにありて思うもの ●黒潮棋士
トランプ氏とプロレスと妻の働く会社の話
●大塚俊明
私の考える憲法改正条項 ●船田美幸
皇族の基本的人権は？ ●大谷猛夫
自衛隊を憲法に明記することの意味
●鈴木 孝
『仮放免の子どもたち』を読んで ●加藤郁夫
拡散させたくない言葉 ●瀬戸昌之
金曜川柳 ●酔球、柿沼昌芳、小泉親種
公文章博、夏の日
イラストレーション ●中島勝宏
みんなの写真展 ●ウルママ

61 論考
平和憲法を生かそう
●秋吉隆雄